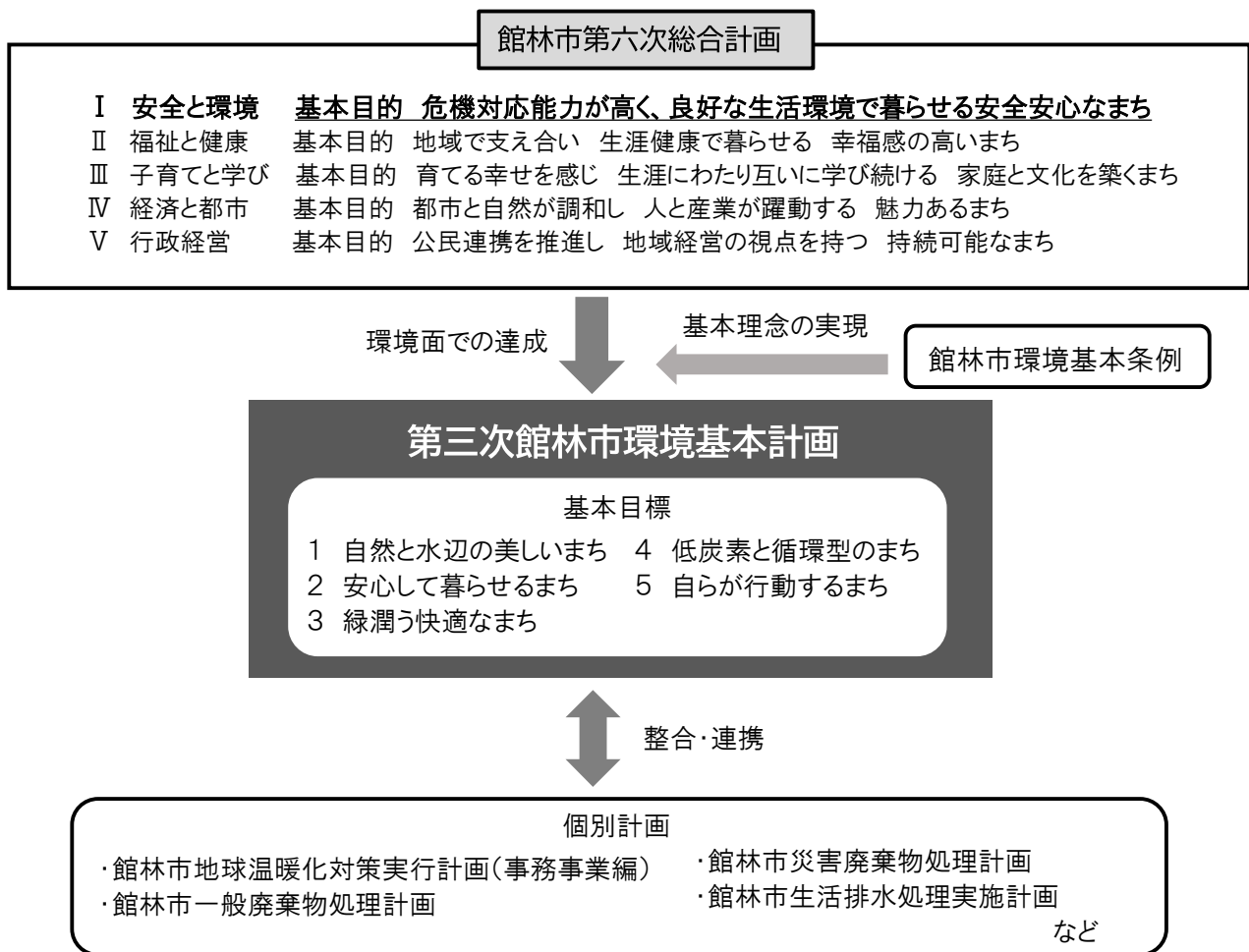


第三次館林市環境基本計画

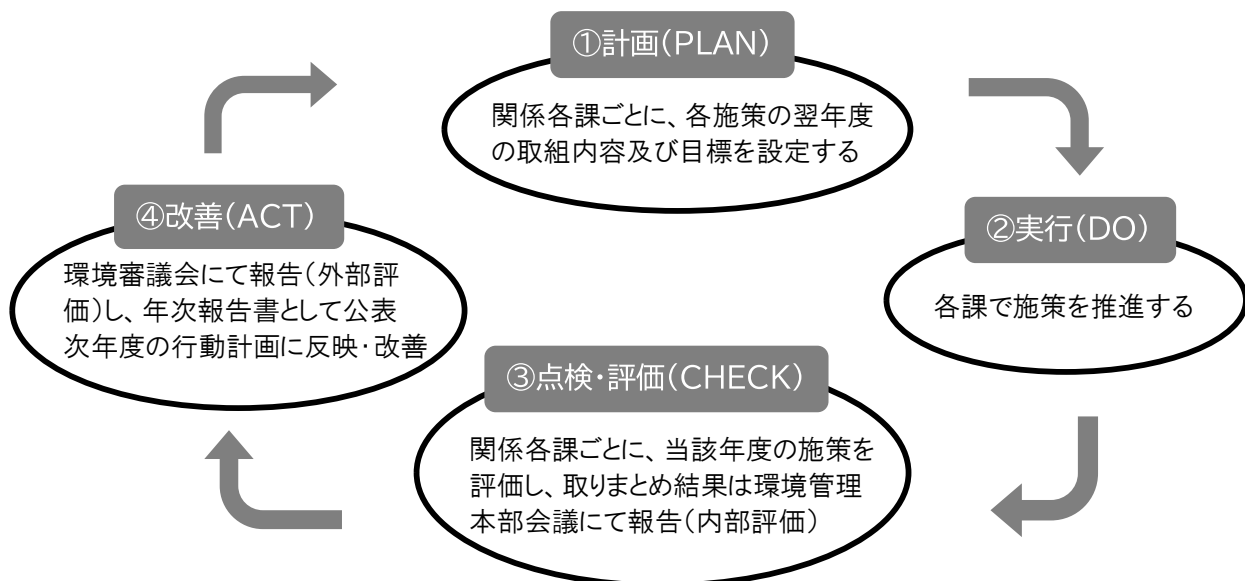
～令和5年度結果報告書～

1, 第三次館林市環境基本計画の位置づけ



2, 進行管理について

計画の進行管理は、環境マネジメントシステム（EMS）のPDCAサイクルの考え方にに基づき行います。



3, 基本目標及び行動目標の評価

基本目標 1 ～ 5 の評価は以下の通りです。

【○：中間目標値・目標値達成 ▲：改善されているが目標未達成 ×：現状値より悪化】

〈基本目標 1 自然と水辺の美しいまち〉

項目	環境指標	現状値 (平成29年度)	中間目標値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	実績		目標達成度	
					R4	R5	R4	R5
①みどり	鳥獣保護区の面積 特別緑地保全地区の 面積	鳥獣保護区: 773.2ha 特別緑地保全地 区:12.0ha	面積の維持	面積の維持	維持	維持	○	○
②水辺	湿原面積	茂林寺沼湿原: 5.6ha 蛇沼湿原:1.1ha 入ノ谷湿原:2.1ha	面積の維持	面積の維持	維持	維持	○	○
③水資源	観測井2か所の 地下水位(※1) ・2号井150m/上早川田町 ・3号井80m/上早川田町	2号井:17.23m 3号井:4.32m	現状維持	現状維持	2号井: 16.65m 3号井: 4.18m (令和3年度)	2号井: 16.43m 3号井: 4.10m (令和4年度)	○	○
④生きもの	メダカの生息 確認の有無	生息	生息	生息	生息	生息	○	○
⑤ふれあい	自然観察会の 参加人数	2,770人 (事業数:7)	3,100人	3,300人	1,753人 (事業数:6)	1,709人 (事業数:6)	×	×

※1水位は地表面より下の水位を示している

〈基本目標 1〉 5 項目中 4 項目達成しています。新型コロナウイルス感染症の影響からは回復しましたが、事業数が減っていることもあり、自然観察会の参加人数は減少傾向にあります。

〈基本目標 2 安心して暮らせるまち〉

項目	環境指標	現状値 (平成29年度)	中間目標値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	実績		目標達成度	
					R4	R5	R4	R5
⑥空気	大気汚染物質(※1)の 長期的評価による環境 基準達成率(除く 光化学オキシダント)	100%	100%	100%	100% (令和3年度)	100% (令和4年度)	○	○
	光化学オキシダントの短期 的評価(※2)による環境 基準の達成状況	未達成 (138日超過)	達成	達成	105日超過 (令和3年度)	114日超過 (令和4年度)	×	×
⑦水	鶴生田川五号橋の 水質(BOD)(※3)	5.3mg/ℓ	5.0mg/ℓ以下	5.0mg/ℓ以下	4.7mg/l	4.1mg/l	○	○
	城沼中央部の水質 (BOD)(※3)	12.0mg/ℓ	5.0mg/ℓ以下	5.0mg/ℓ以下	9.0mg/l	9.6mg/l	×	×
⑧騒音・ 振動	観測地点での騒音の 環境基準の達成率	昼間:100% 夜間:100%	昼間:100% 夜間:100%	昼間:100% 夜間:100%	昼間:100% 夜間:100%	昼間:100% 夜間:100%	○	○

⑨悪臭	悪臭の苦情件数	5件	3件	1件	9件	3件	×	○
⑩地盤・土壌	水準測定点25地点の5年間の平均地盤沈下量	6.1mm	6.0mm	6.0mm	3.7mm (令和3年度)	4.0mm (令和4年度)	○	○

※1大気汚染物質は一般大気及び自動車排出ガスの測定局による測定結果を示す

※2環境基準(1時間値が0.06ppm以下)を1回以上超えると未達成

※3水質の値は「75%値」を参照

〈基本目標2〉7項目中5項目達成しています。城沼中央部の水質改善に向けて、県と連携した監視及び清掃活動の支援等を強化していく必要があります。

〈基本目標3 緑潤う快適なまち〉

項目	環境指標	現状値 (平成29年度)	中間目標値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	実績		目標達成度	
					R4	R5	R4	R5
⑪公園	市民1人当たりの公園・緑地等面積	27.91㎡	現状維持	現状維持	28.40㎡	30.07㎡	○	○
⑫景観	町並みが美しいと思う市民の割合	68.6% (令和元年度)	70%	80%	74.4%※1 (令和5年度)	82.6%※1 (令和6年度)	○	○
⑬緑	庭の緑化に取り組んでいる市民の割合	—	80%	85%	69.2%※2 (令和5年度)	64.1%※2 (令和6年度)	×	×

※1市民・事業者アンケート調査結果「町並みの美しさについて」より算出

※2市民・事業者アンケート調査結果「庭の緑化について」より算出

〈基本目標3〉3項目中2項目達成しています。町並みが美しいと思う市民の割合は目標値を達成しているものの、庭の緑化に取り組んでいる市民の割合が前年度実績を下回っており、周知啓発手段を検討していく必要があります。

〈基本目標4 低炭素と循環型のまち〉

『たてばやし5つのゼロ宣言－宣言2 温室効果ガスゼロ－』に関連しています。

項目	環境指標	現状値 (平成29年度)	中間目標値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	実績		目標達成度	
					R4	R5	R4	R5
⑭再エネ	市民の低炭素型設備機器の導入率	22.9% (令和元年度)	50%	70%	21.6%※1 (令和5年度)	22.6%※1 (令和6年度)	×	▲
⑮省エネ	市民の省エネルギー実施率	40.5% (令和元年度)	50%	60%	38.8%※2 (令和5年度)	45.5%※2 (令和6年度)	×	▲
⑯循環型社会	市民1人1日当たりのごみ排出量	975g (平成30年度)	755.5g (令和4年度)	700g	935g (令和3年度)	930g (令和4年度)	▲	▲
	ごみの資源化率	21.7%	33.2% (令和4年度)	40%	18.9% (令和3年度)	18.6% (令和4年度)	×	×
⑰温暖化	市域からの二酸化炭素排出量	562千t-CO ₂ (平成28年度)	503千t-CO ₂	466千t-CO ₂	473千t-CO ₂ (令和2年度)	485千t-CO ₂ (令和3年度)	○	○
⑱公共交通	拠点間を結ぶバスの利用者数	178,540人 (平成30年度)	現状維持	現状維持	170,264人	180,904人	▲	○

①⑨気候変動	人口1万人当たりの熱中症による救急搬送者数	13.1人 (平成30年度)	減少	減少	7.8人	10人	○	○
--------	-----------------------	-------------------	----	----	------	-----	---	---

※1市民・事業者アンケート調査結果「地球温暖化防止につながる設備の導入」より算出

※2市民・事業者アンケート調査結果「省エネルギー行動について」より算出

〈基本目標4〉7項目中3項目達成しています。市民の低炭素設備機器の導入率及び省エネルギー実施率は令和4年度より増加しているものの中間目標値には届きませんでした。また、拠点間を結ぶバスの利用者は、路線の再編や、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復により、現状値を超えました。

〈基本目標5 自らが行動するまち〉

項目	環境指標	現状値 (平成29年度)	中間目標値 (令和6年度)	目標値 (令和11年度)	実績		目標達成度	
					R4	R5	R4	R5
②⑩環境啓発	環境啓発事業への参加人数	2,073人 (平成30年度)	2,800人	3,000人	690人	809人	×	▲
②⑪環境学習	出前講座の年間実施件数及び参加人数	23件・1,392人 (平成30年度)	28件・1,680人	30件・1,800人	26件・1,111人	28件・1,183人	▲	▲
②⑫環境活動	環境に係わる活動への参加率	22.4% (令和元年度)	35%	45%	18.0%※ (令和5年度)	16.0%※ (令和6年度)	▲	▲

※市民・事業者アンケート調査結果「環境に係わる活動について」より算出

〈基本目標5〉環境啓発事業では、市民のつどい（環境フェスティバル）の参加人数が、荒天のため前年を大きく下回りましたが、クールシェア・ウォームシェア等他の啓発事業の実施により、前年度より参加人数は増加しました。また、出前講座の実施件数及び参加人数は共に増加傾向にあります。環境に係わる活動への参加率は前年度実績をやや下回りました。

4. 関係各課における行政施策の評価

※[]内は昨年度実績値

基本目標1 自然と水辺の美しいまち【達成率:63.0%】

行動目標1～5の達成状況は以下の通りです。※()内は施策数

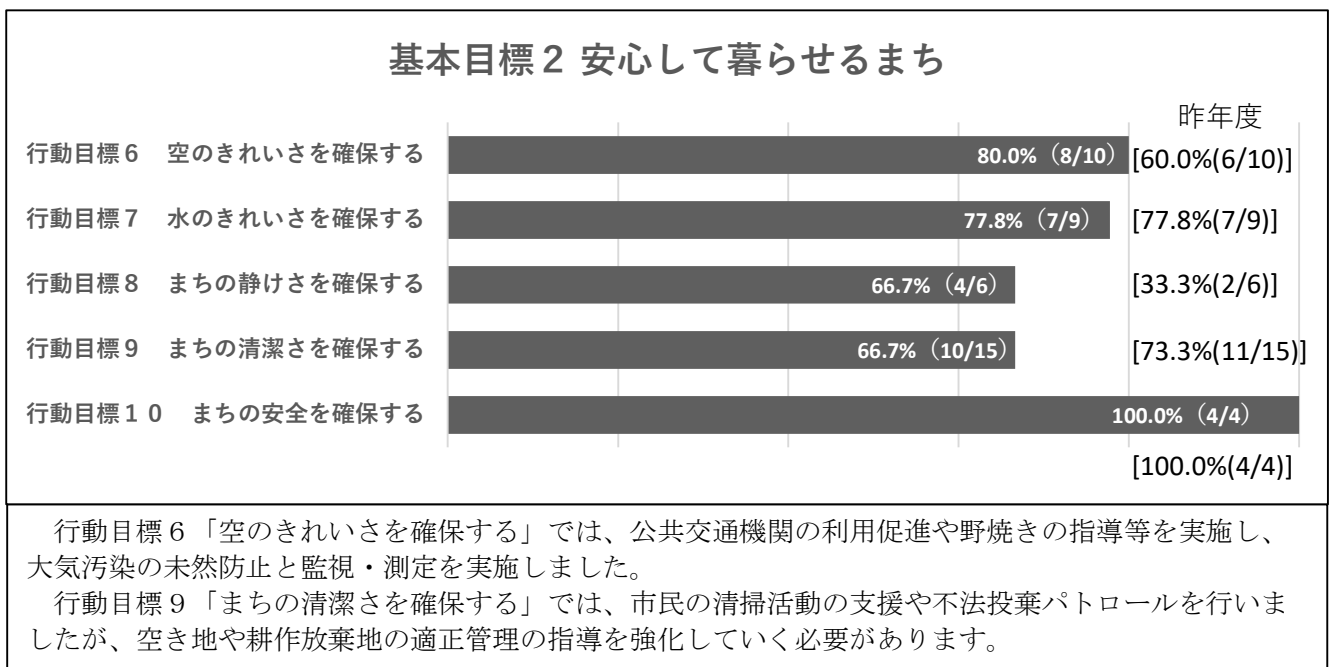
基本目標1 自然と水辺の美しいまち				昨年度
行動目標1	ふるさとの緑や農地を守る	66.7% (6/9)		[77.8%(7/9)]
行動目標2	水辺環境を守る	83.3% (5/6)		[66.7%(4/6)]
行動目標3	水資源を守る	33.3% (2/6)		[33.3%(2/6)]
行動目標4	生きものの多様性を守る	61.5% (8/13)		[46.2%(6/13)]
行動目標5	自然とのふれあいを創造する	66.7% (8/12)		[50.0%(6/12)]

行動目標2「水辺環境を守る」では、市民や事業者と連携しながらヨシ狩りの実施や河川の清掃活動などの湿原の保全・管理を実施しました。

行動目標3「水資源を守る」では、地下水の保全、河川の氾濫防止等を目的として実施している補助金制度の申請数を増加させるため、周知啓発方法を検討する必要があります。

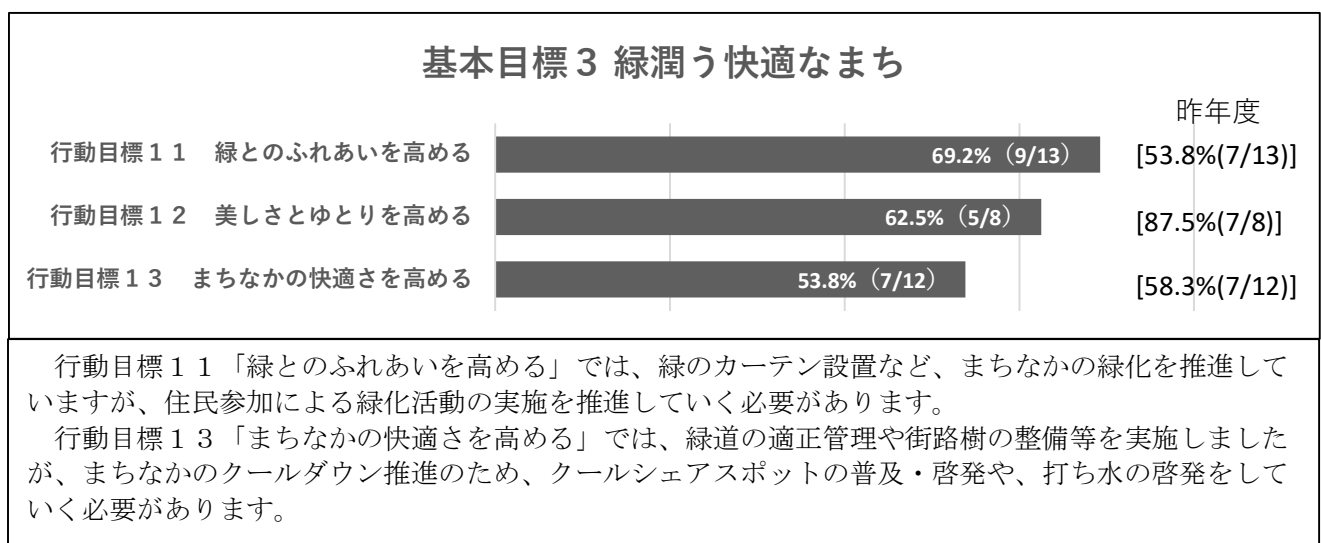
基本目標2 安心して暮らせるまち【達成率:75.0%】

行動目標 6 ～ 10 の達成状況は以下の通りです。※()内は施策数



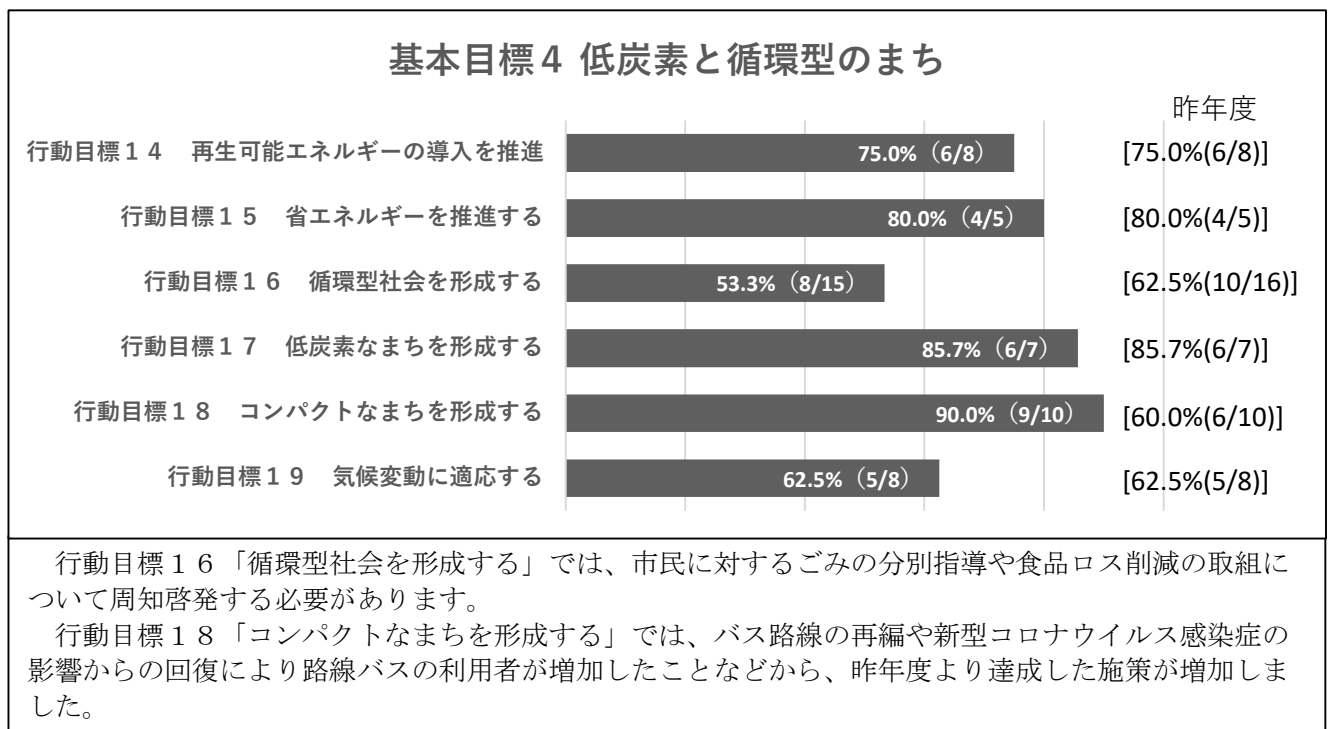
基本目標3 緑潤う快適なまち【達成率:63.6%】

行動目標 11 ～ 13 の達成状況は以下の通りです。※()内は施策数



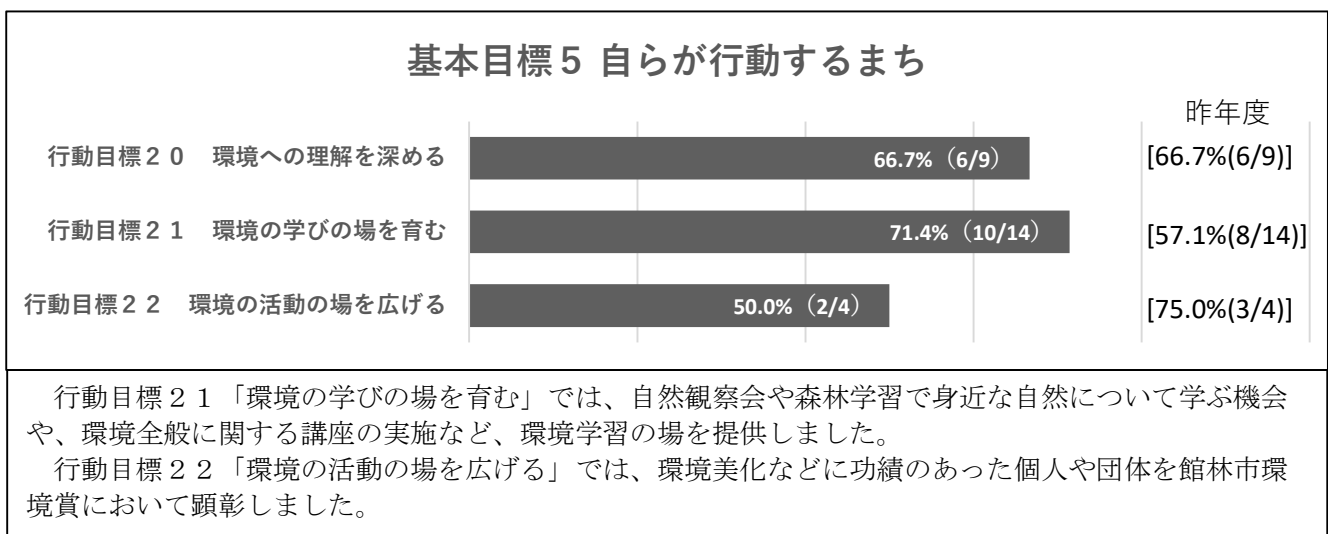
基本目標4 低炭素と循環型のまち【達成率:71.7%】

行動目標 1 4～1 9 の達成状況は以下の通りです。※()内は施策数



基本目標5 自らが行動するまち【達成率:66.7%】

行動目標 2 0～2 2 の達成状況は以下の通りです。※()内は施策数



市民・事業者アンケート調査結果

1, 調査結果概要 ※()内は昨年度実績値

第三次館林市環境基本計画の進行管理にあたり、市民・事業者の環境への取組状況を把握し、環境行政に反映させるために、アンケート調査を実施しました。

調査対象	市民	事業者
調査期間	令和6年5月13日～令和6年6月13日	
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出	館林商工会議所所有データより業種ごとに無作為抽出
調査数	400 (400)	80 (80)
回収数	167 (172)	48 (41)
回収率	41.8% (43.0%)	60.0% (51.3%)
	44.8% (44.4%)	

2, 市民アンケート調査結果

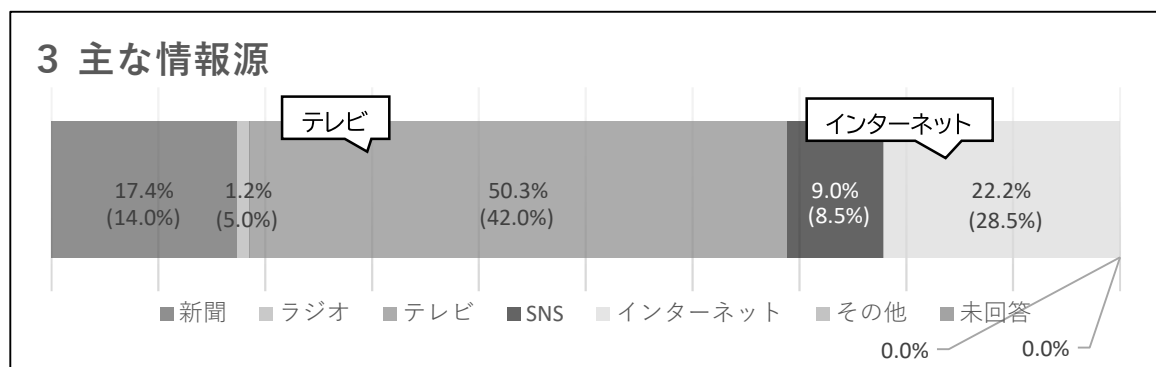
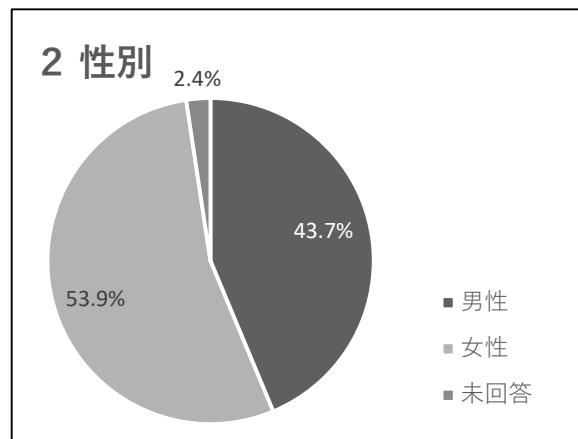
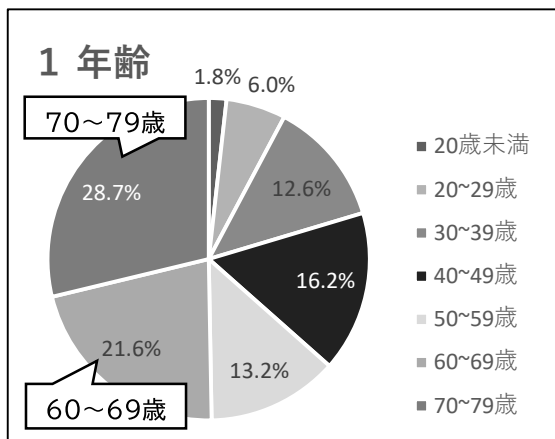
※小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が 100%にはならない。

※()内は昨年度実績値

(1) 基本情報

【1年代・2性別・3主な情報源】

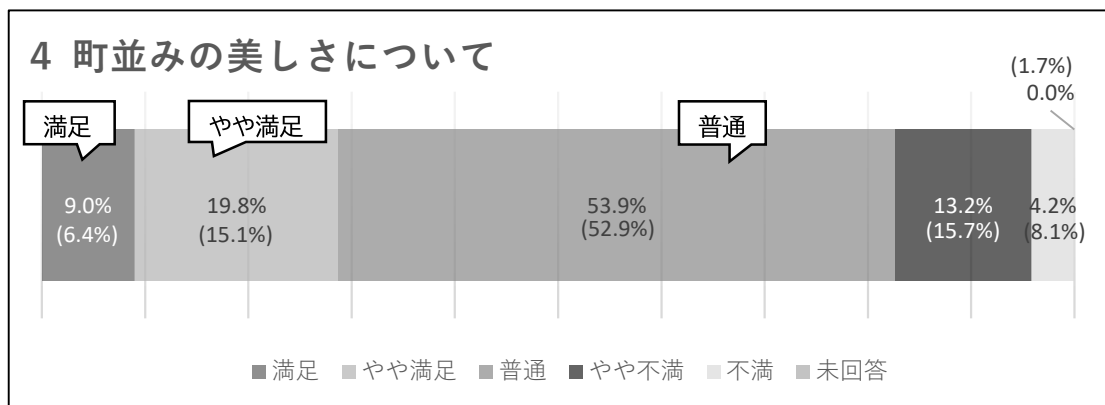
回答率が最も高かった年代は70歳代で、回答者の約3割を占めており、若年層に近づくにつれて回答率は減少しています。また、回答者の性別比率は、おおよそ約5割強が女性で約4割強が男性となっており、主な情報源としてはテレビが約5割、インターネットが約2割強、新聞が約2割弱となりました。



(2) 環境指標の評価項目

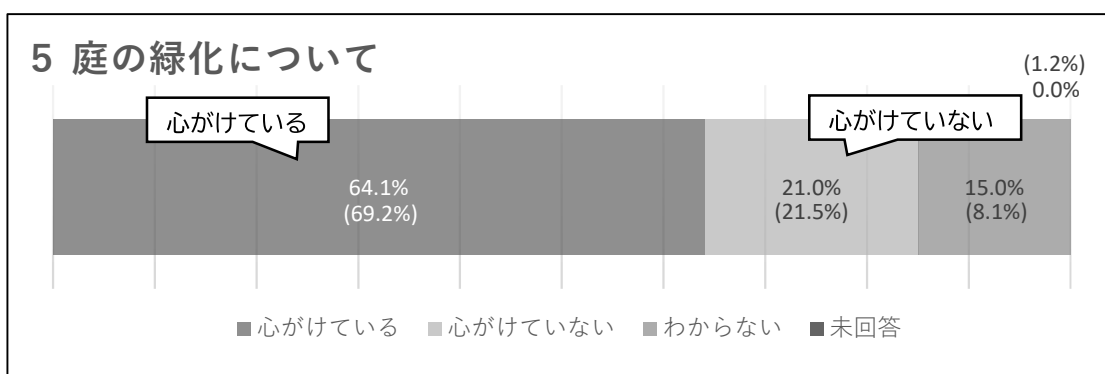
【4町並みの美しさについて】

自分が住んでいる町の美しさについては、約半数が「普通」と回答しました。



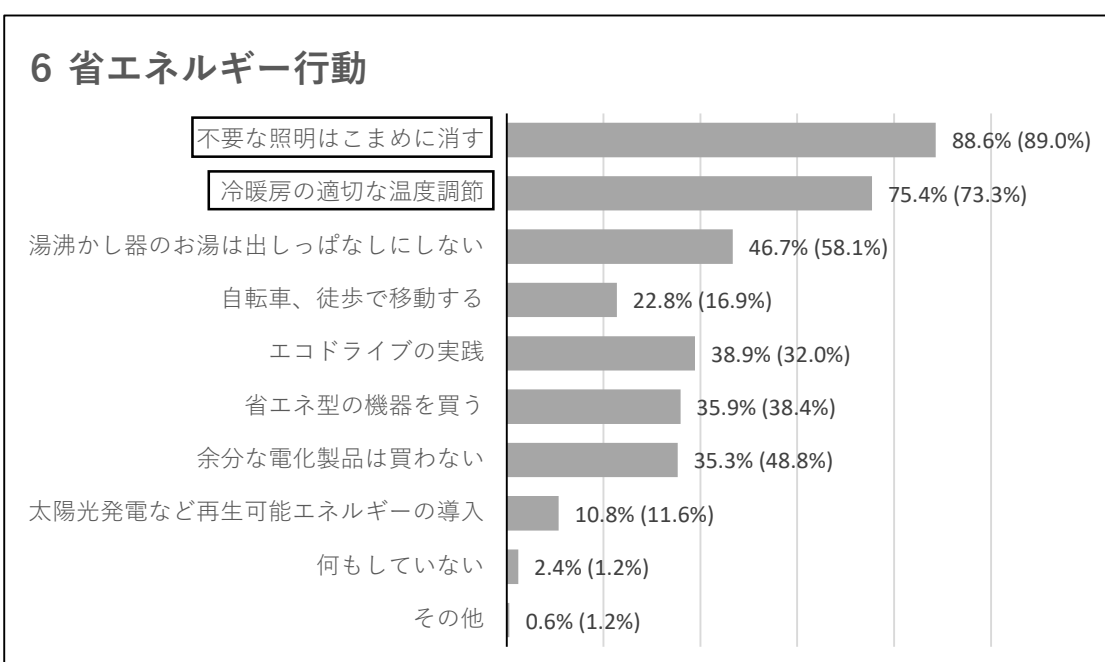
【5庭の緑化について】

約65%が庭の緑化に心がけていると回答しました。



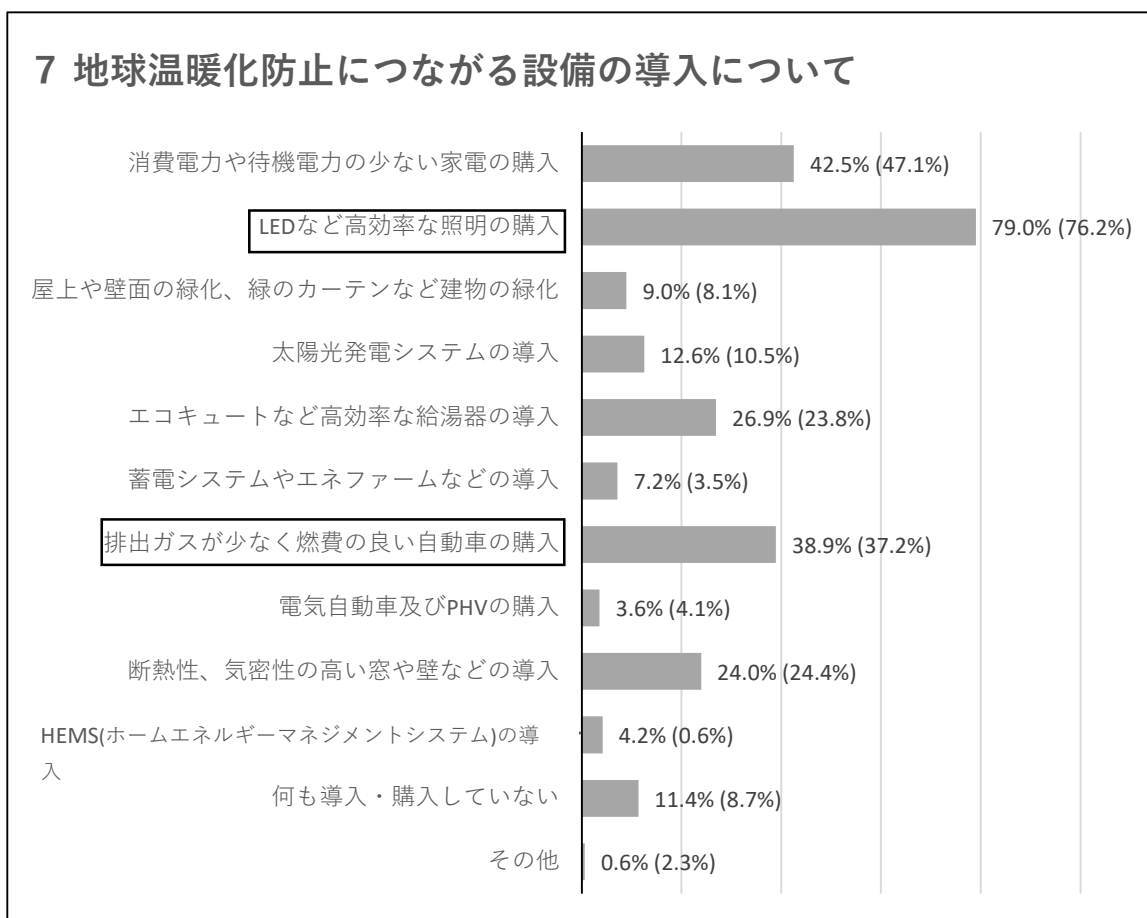
【6省エネルギー行動について】

日常生活の中で実践している省エネルギー行動では、こまめな節電や冷暖房の温度調節について、多くの市民が取り組んでいました。



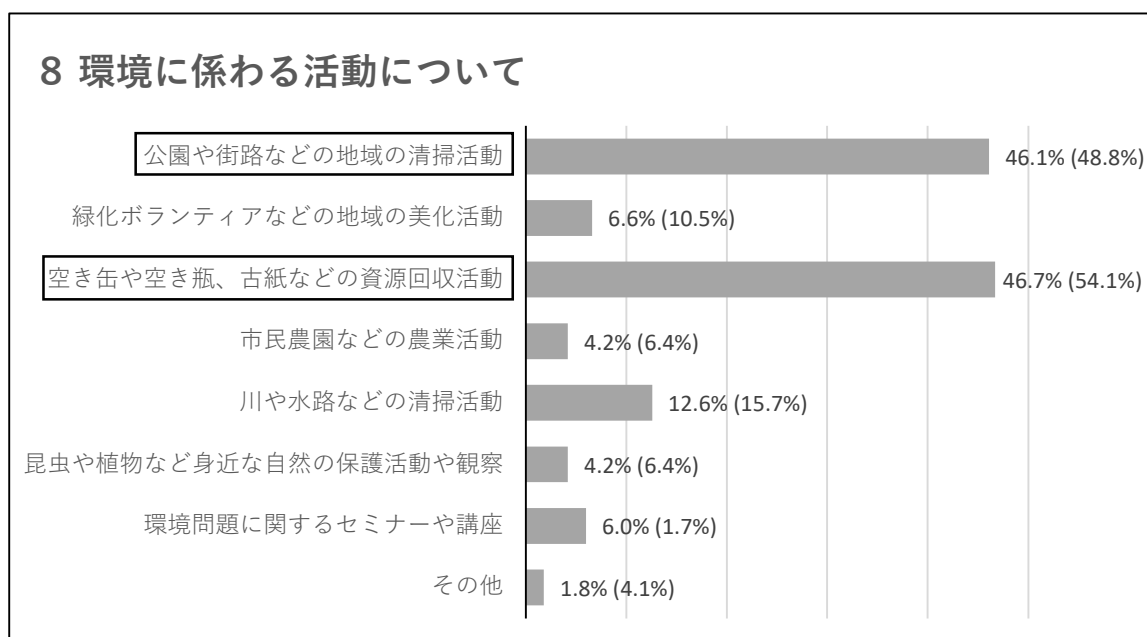
【7 地球温暖化防止につながる設備の導入について】

LED照明の購入が最も多く、燃費の良い自動車の購入も4割近い回答がありました。



【8 環境に係わる活動について】

約半数の市民が参加したことがあると回答しました。

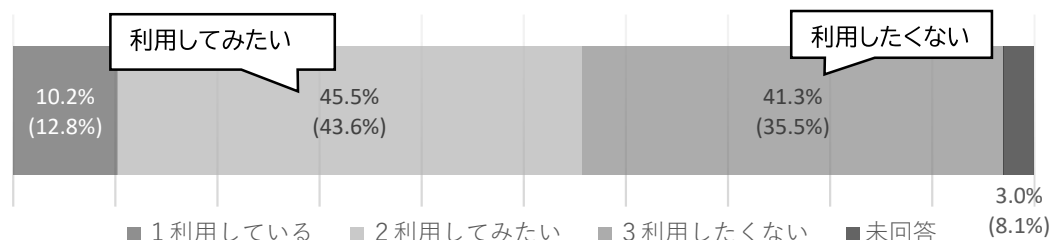


(3) 環境に関するテーマごとの設問

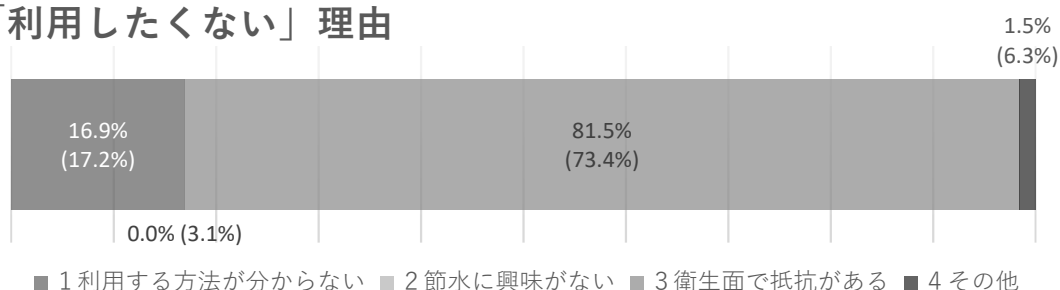
【水に関すること】

節水のための雨水利用については、半数以上の市民が関心を持っていました。また、野菜くずや食用油を流さないなど、多くの人が水質保全に取り組んでいました。

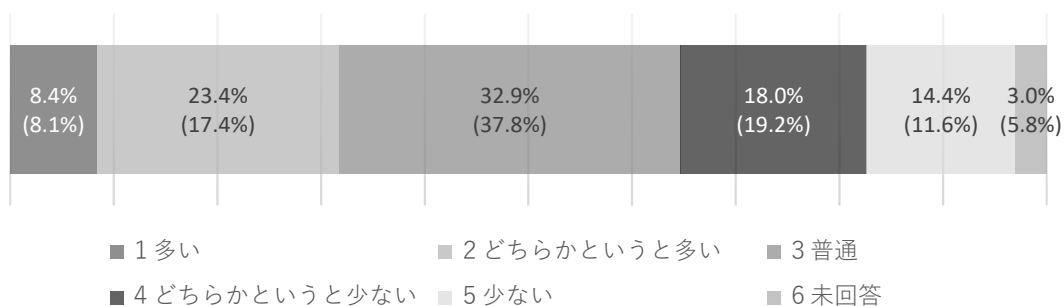
9 節水のために雨水を利用してみたいと思いますか



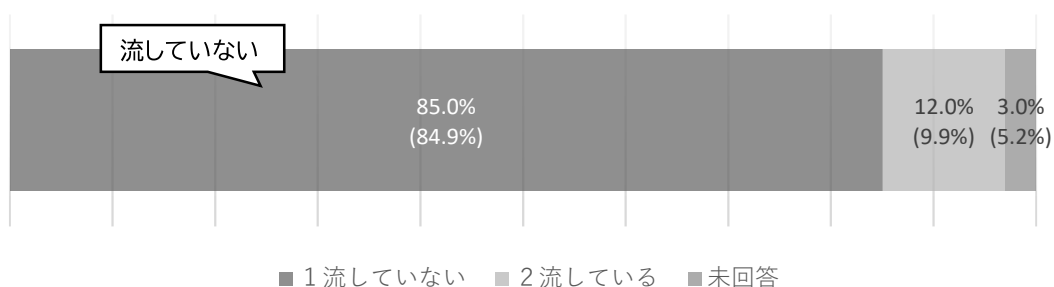
「利用したくない」理由



10 水辺や自然と触れ合う機会が多いと思いますか



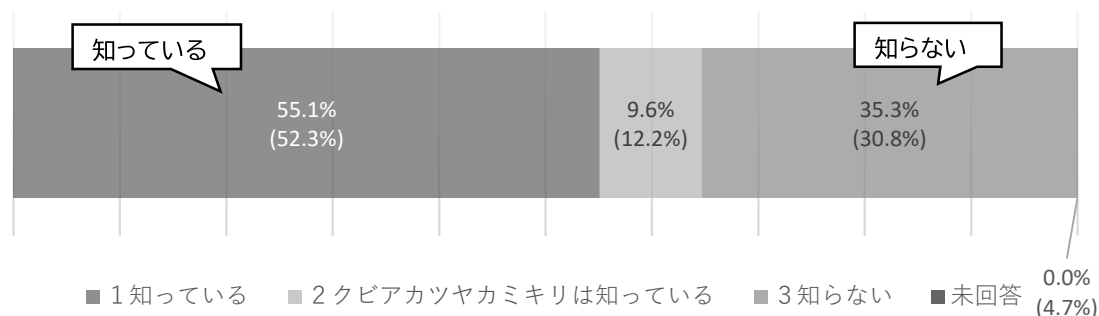
11 野菜くずや食用油を流さないようにしていますか



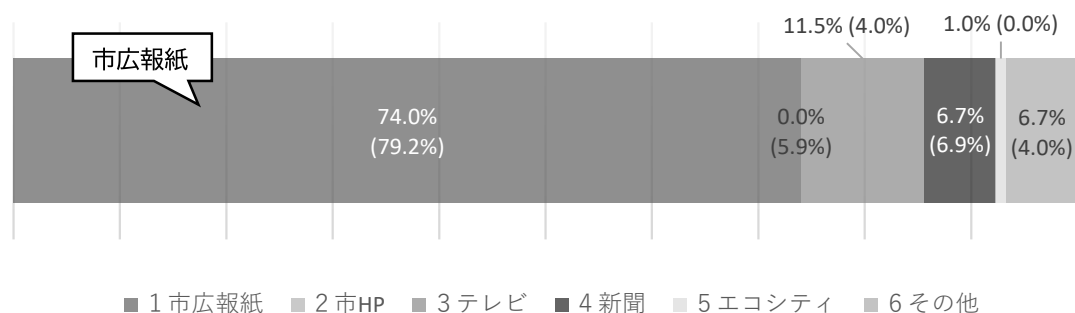
【緑に関すること】

特定外来生物のクビアカツヤカミキリ対策である「クビアカツヤカミキリ撲滅プロジェクト」は、約半数の人が知っていました。

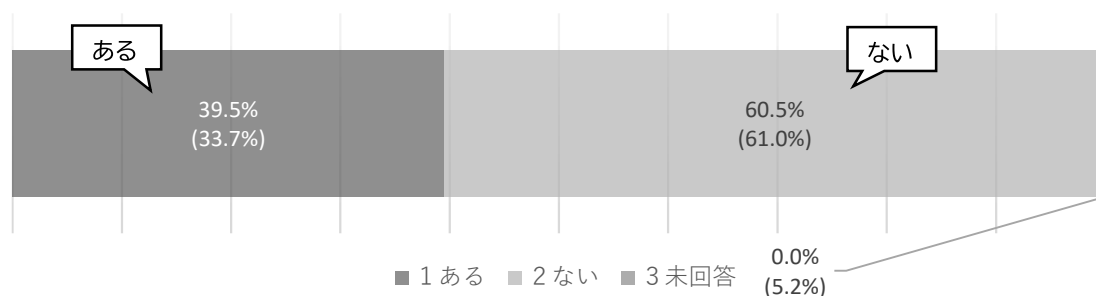
1 2 「クビアカツヤカミキリ撲滅プロジェクト」を知っていますか



「知っている」を選択したかたは、何を通じて知りましたか



1 3 緑のカーテンを育てたことはありますか

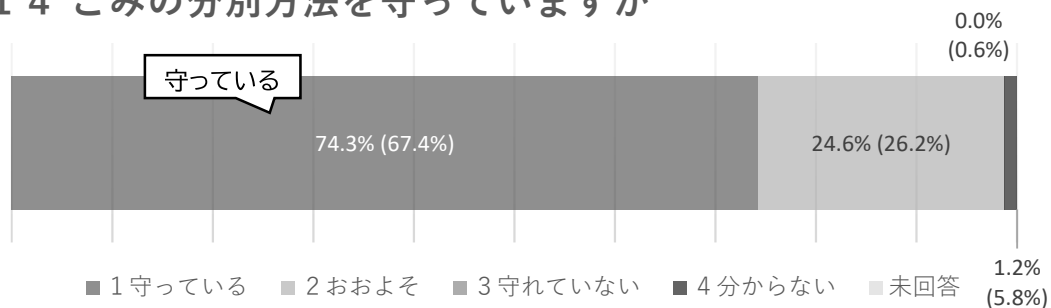


【ごみに関すること】

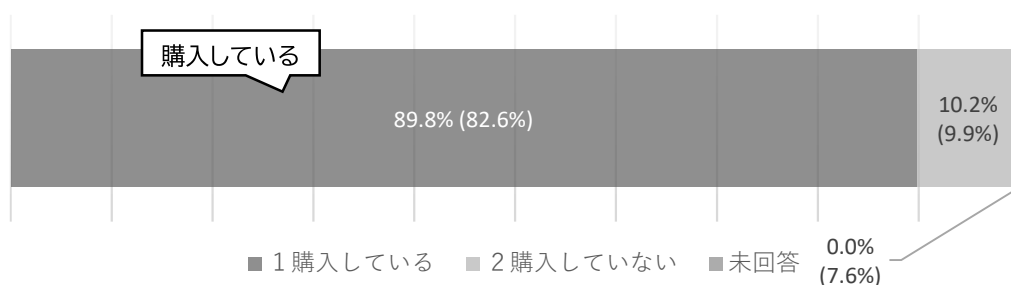
7割強の市民がごみの分別方法を守っていると回答しました。

ほとんどの人が詰め替え品の購入やマイバッグを利用していますが、マイボトルを持参している人は約6割でした。

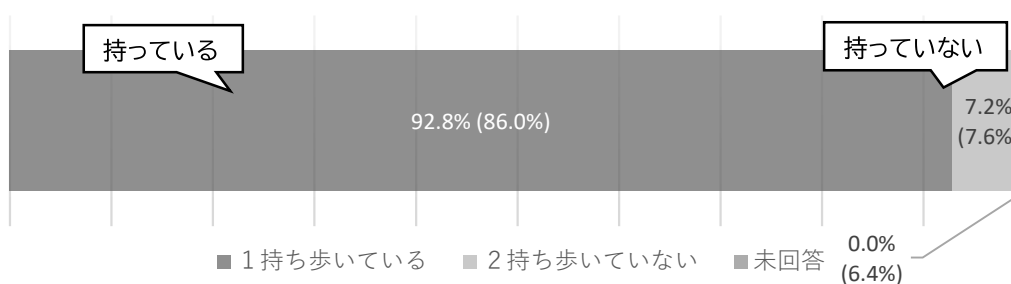
1 4 ごみの分別方法を守っていますか



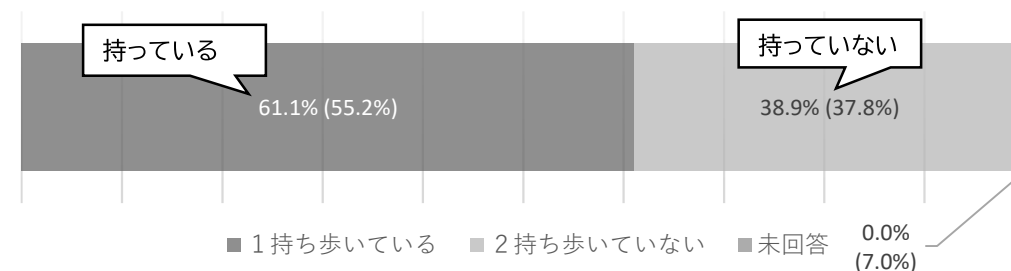
1 5 詰め替えやリサイクル製品を優先して購入していますか



1 6 買い物の際はマイバッグを持ち歩いていますか



1 7 出かける際はマイボトルを持ち歩いていますか

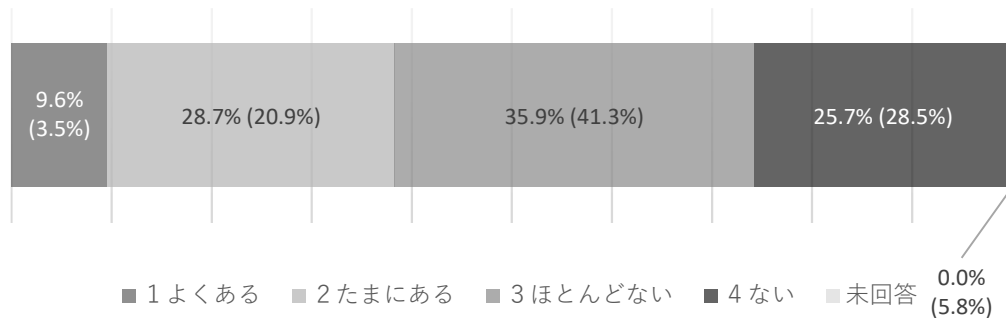


【生活に関すること】

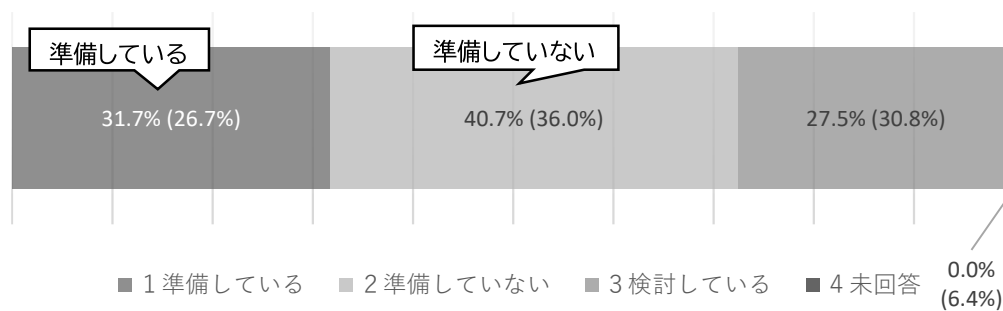
公共交通は約6割の市民がほとんど利用していませんでした。また、防災セットは約6割の人が準備もしくは検討をしているものの、約7割の人は準備していませんでした。

また、8割の市民がエコドライブを心掛けていると回答し、6割以上の市民が環境にやさしい電気自動車（EV等）の利用に前向きな回答をしました。

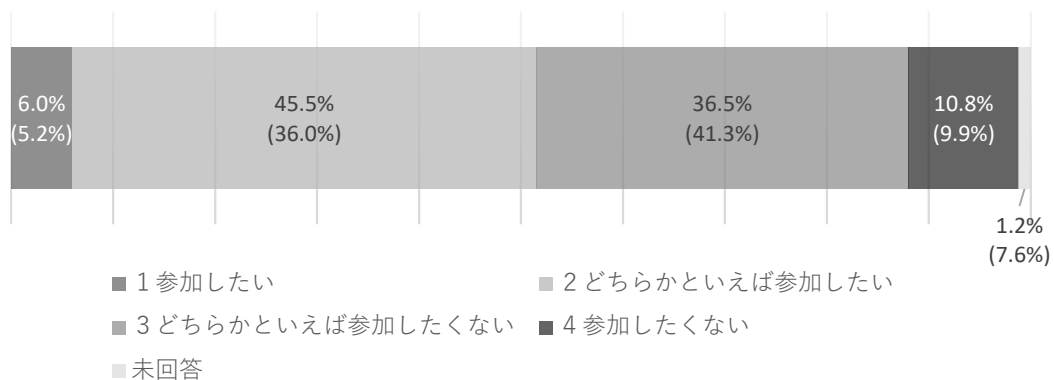
1 8 公共交通機関を利用する機会がありますか



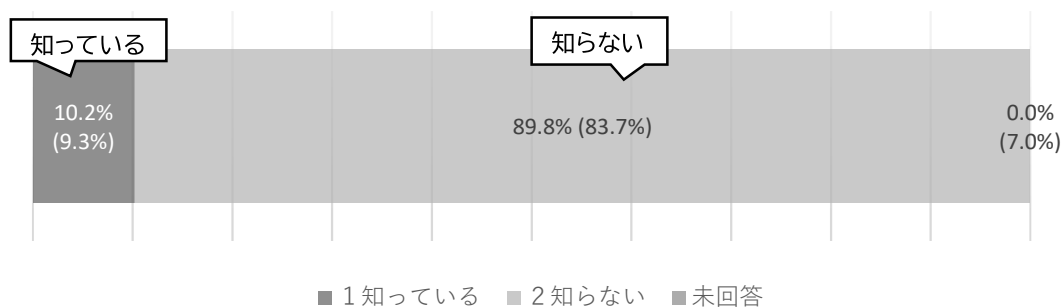
1 9 防災セット（避難用）を準備していますか



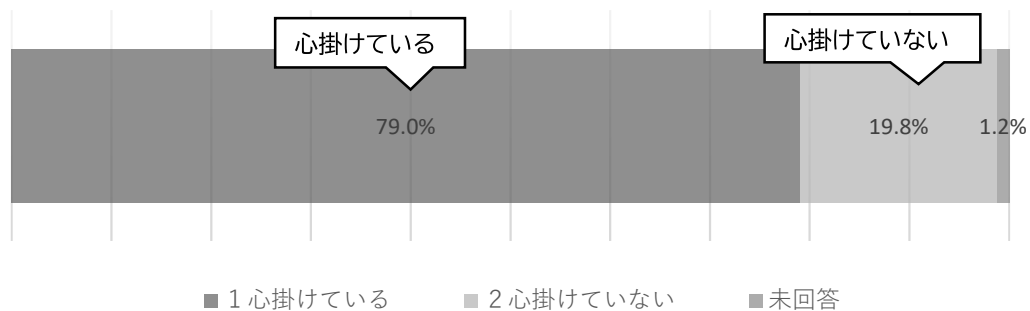
2 0 環境に関するイベントがあれば参加したいと思いますか



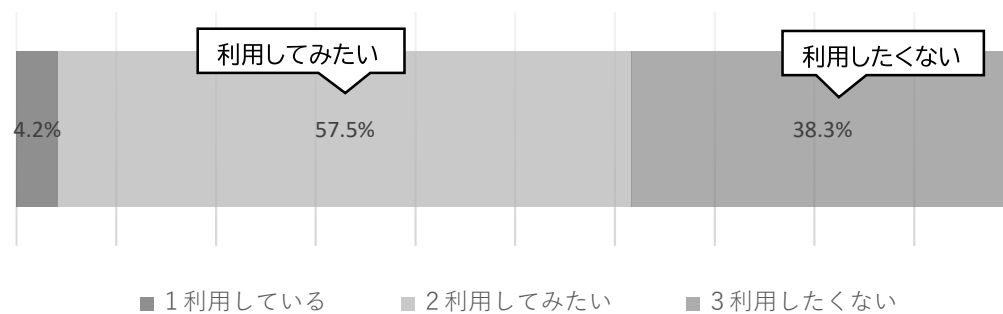
2 1 「たてばやし学校エコライフ活動」を知っていますか



2 2 エコドライブを心掛けていますか



2 3 電気自動車（EV等）を利用していますか

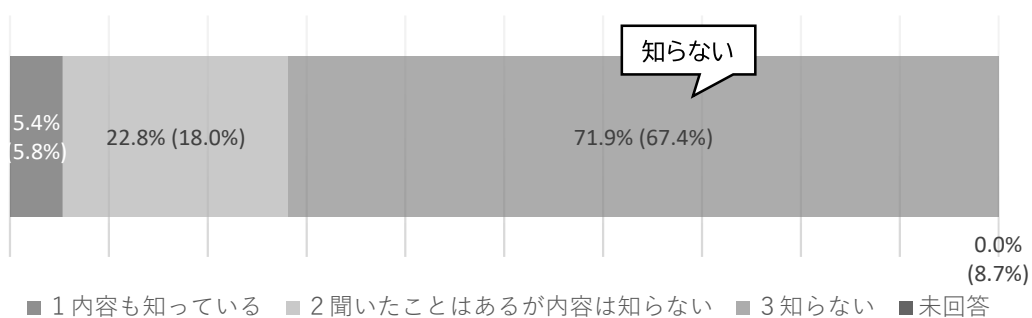


【9 たてばやし 5 つのゼロ宣言について】

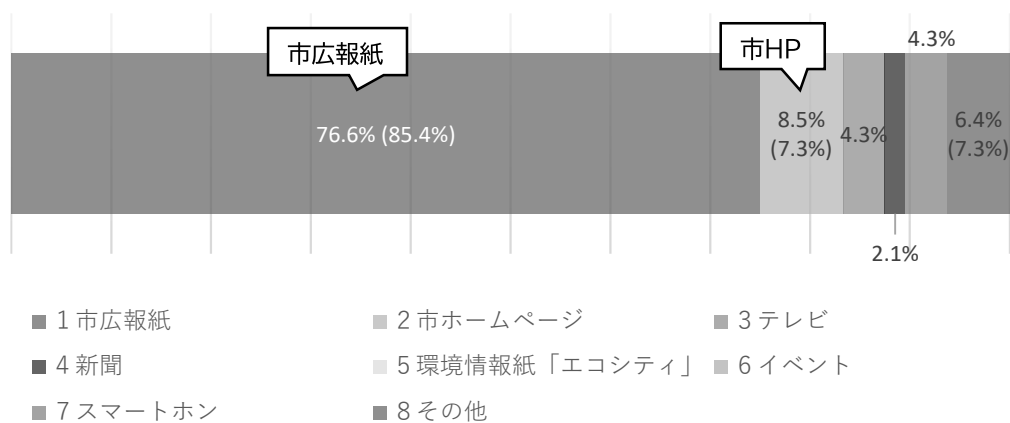
(4) たてばやし 5 つのゼロ宣言について

7 割の市民が知らないと回答しました。

2 4 「たてばやし 5 つのゼロ宣言」を知っていますか



「1」もしくは「2」を選んだかたは、何を通じて知りましたか



3, 事業者アンケート調査結果

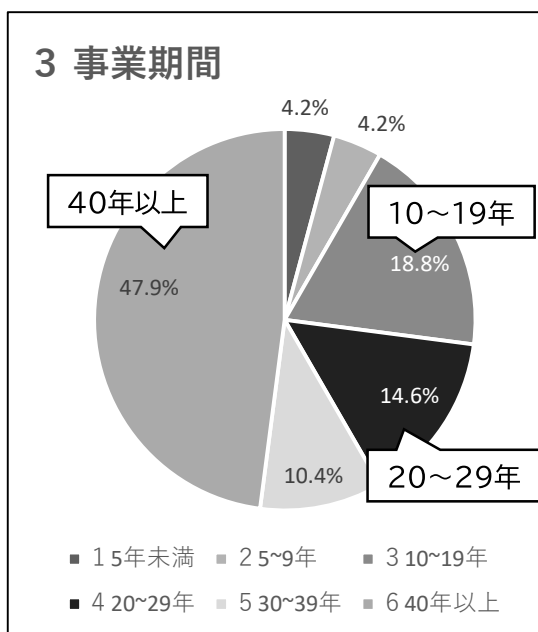
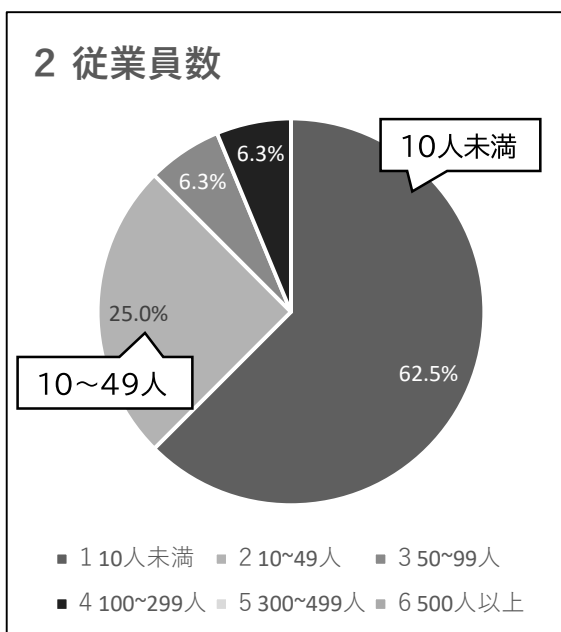
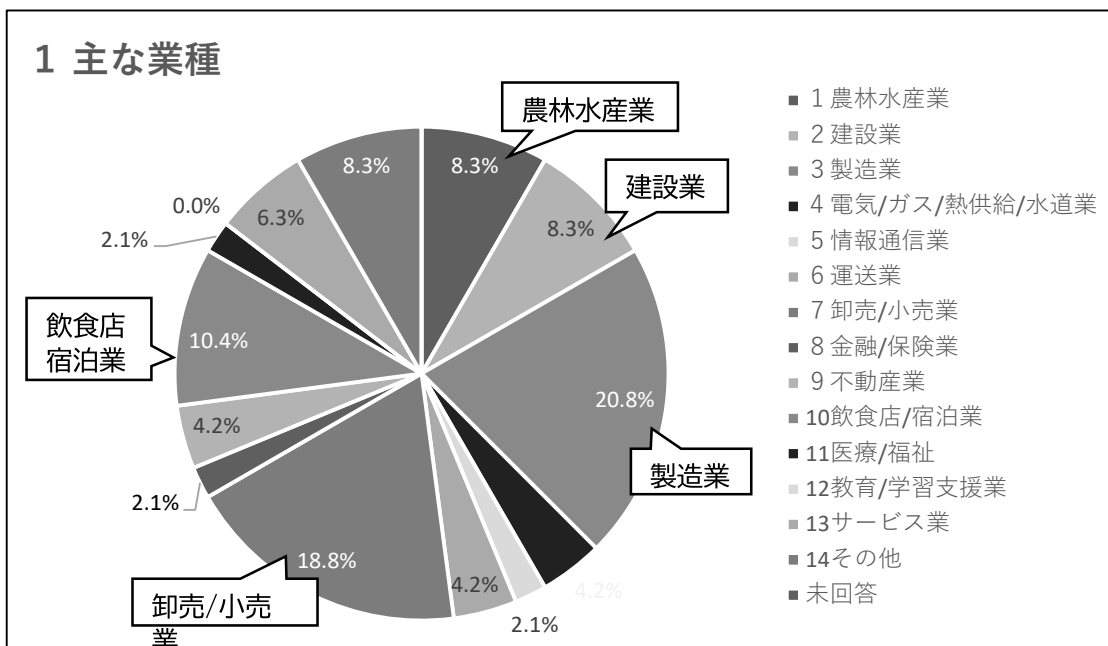
※小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも合計が100%にはならない。

※()内は昨年度実績値

(1) 基本情報

【1 主な業種・2 従業員規模・3 市内における事業年数】

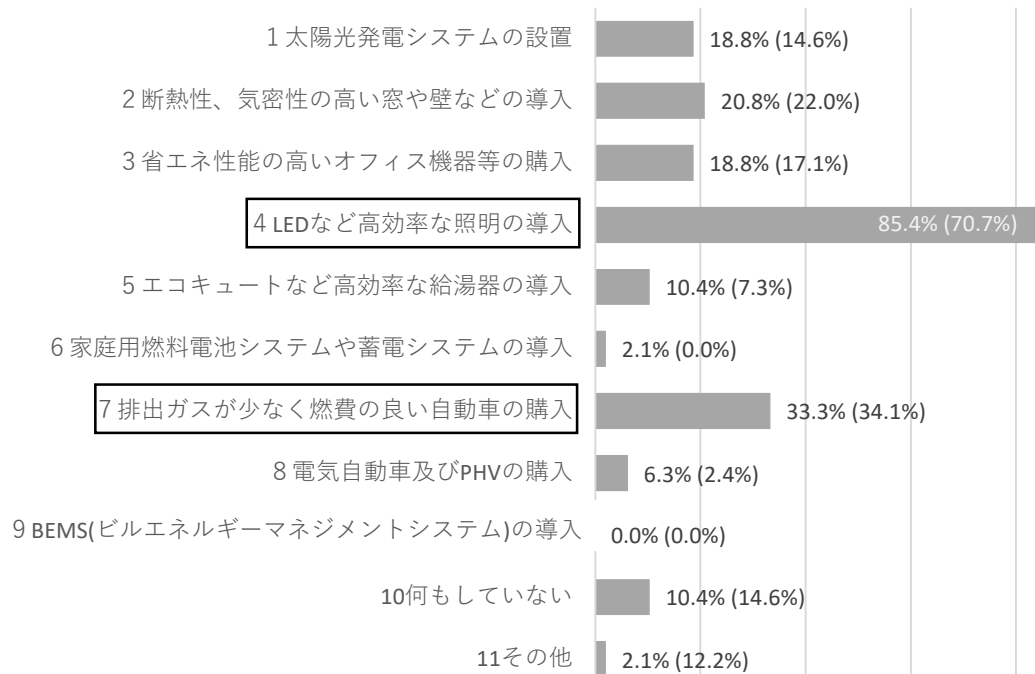
主な業種は、製造業及び卸売/小売業がともに約2割を占めています。また、市内での事業年数では、約5割の事業者が40年以上と回答しました。



【5 地球温暖化防止につながる設備の導入について】

LED照明の導入が最も多く、次いで燃費の良い自動車の購入が多い回答となりました。

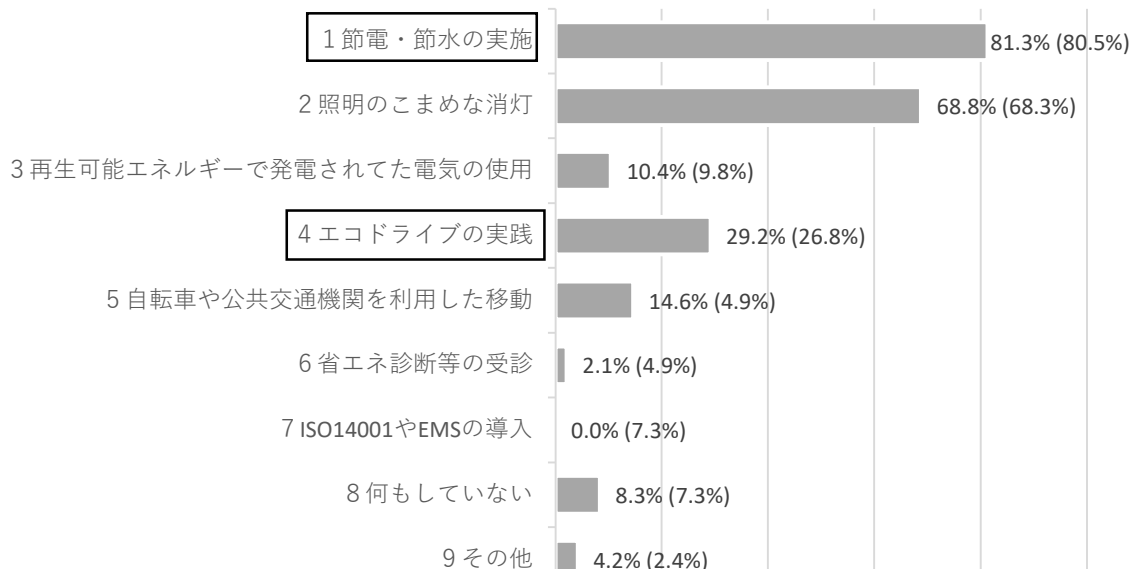
4 導入している地球温暖化防止につながる設備



【6 省エネルギー行動について】

多くの事業者が節電・節水に取り組んでいますが、エコドライブの実践は3割以下となりました。

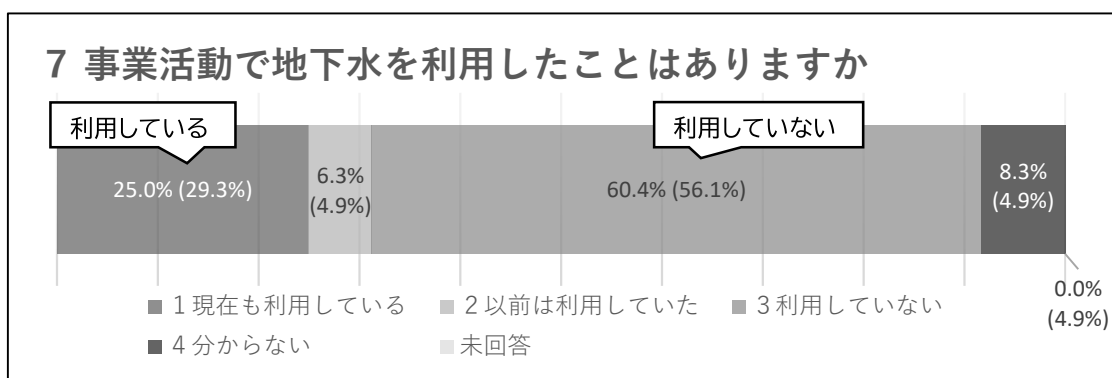
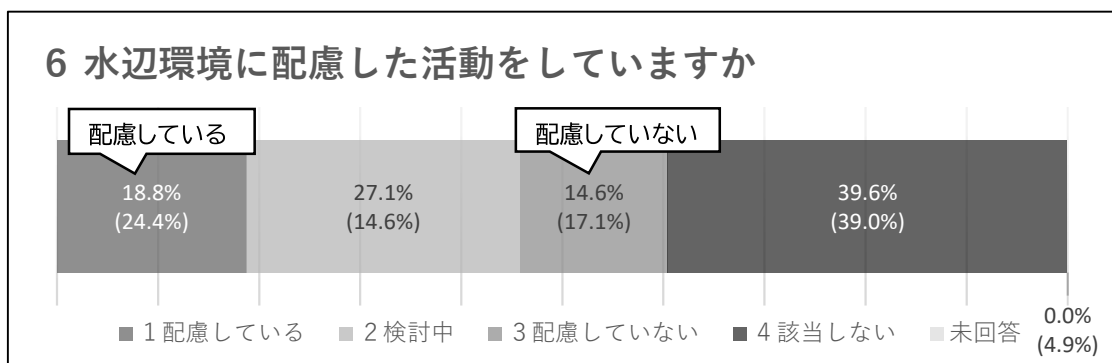
5 取り組んでいる省エネルギー行動



（３）環境に関するテーマごとの設問

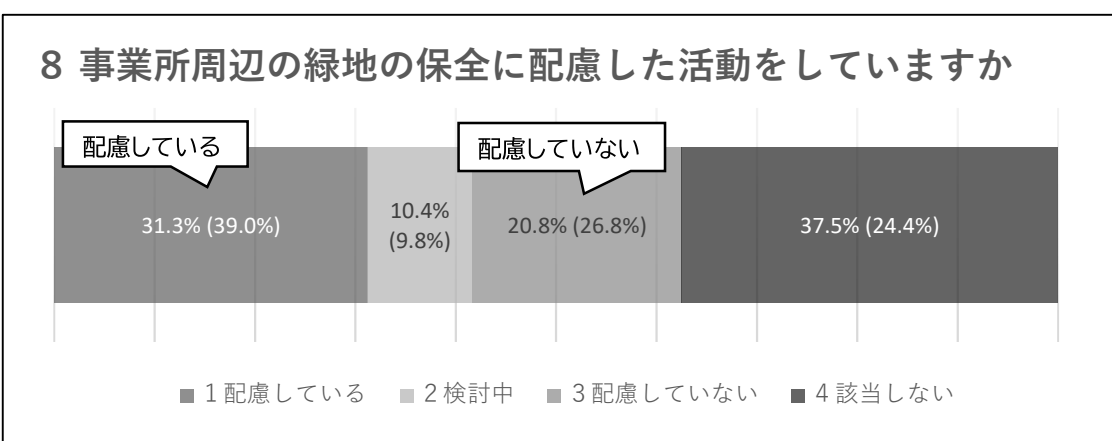
【水に関すること】

４分の１の事業者が事業活動で地下水を利用していました。

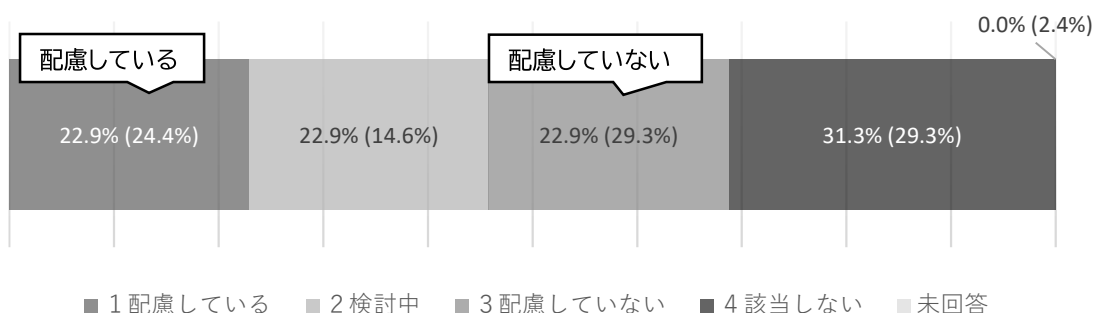


【緑に関すること】

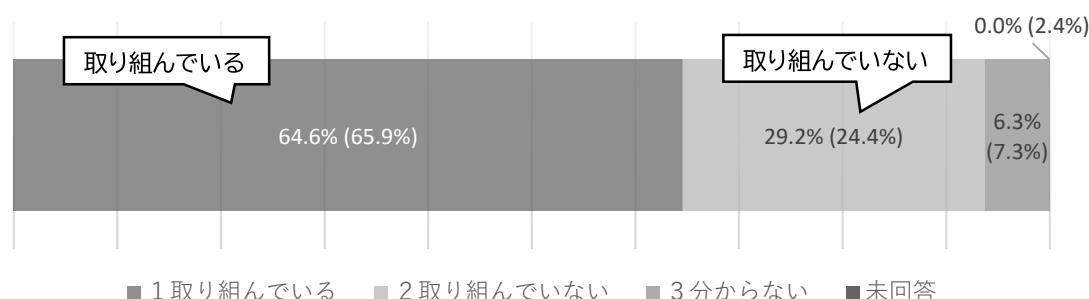
約 65%の事業者が敷地内の緑化に取り組んでいると回答しました。



9 事業活動において、生態系に配慮していますか



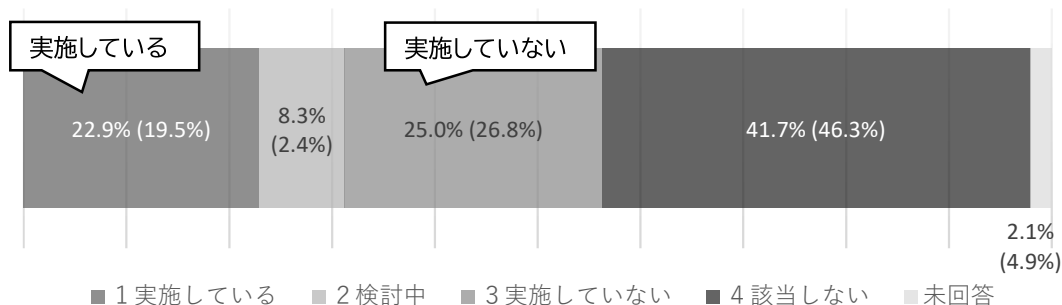
10 事業敷地内の緑化に取り組んでいますか



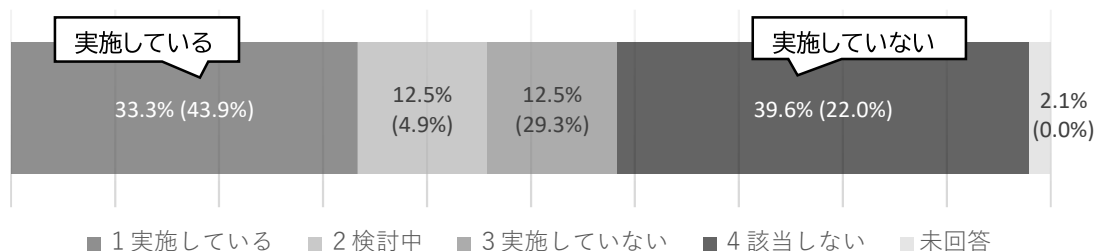
【公害に関すること】

防音対策を実施している事業者は約2割で、排水対策を実施している事業者は約3割となりました。

11 事業所もしくは工場の防音対策を実施していますか



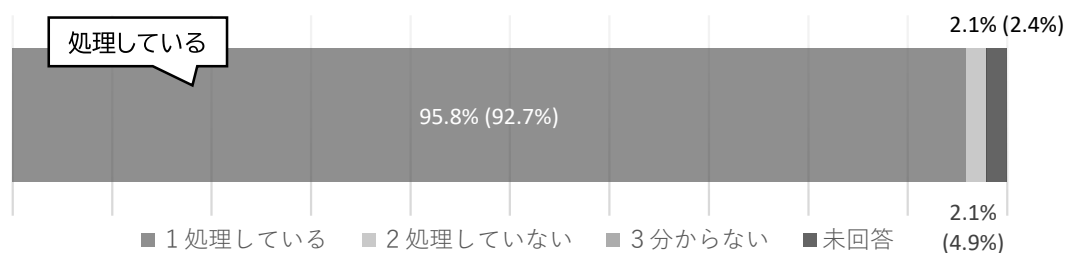
12 水のきれいさを守るための排水対策を実施していますか



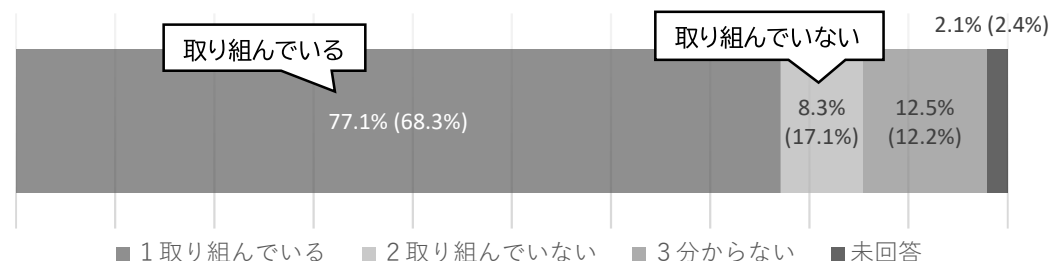
【ごみに関すること】

ごみの減量化に取り組んでいる事業者は約8割となりました。

1 3 ごみは分別し、適正に処理をしていますか



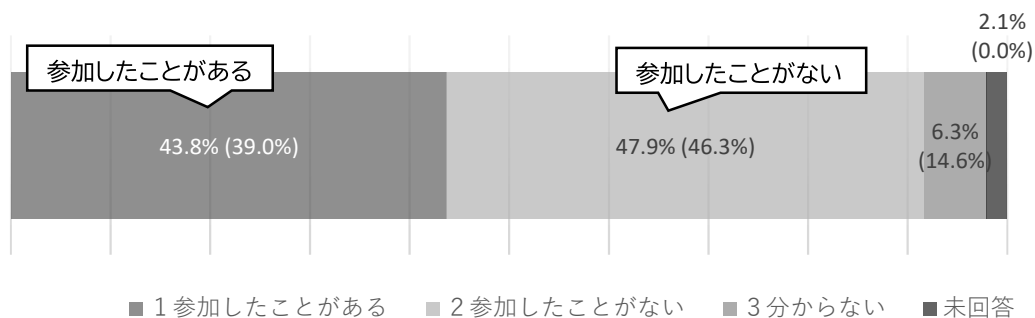
1 4 ごみの減量化に取り組んでいますか



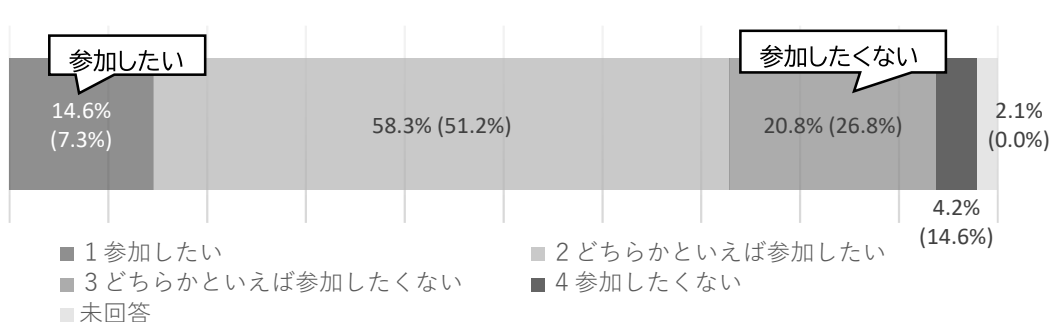
【学びに関すること】

地域のイベントに参加したことがある事業者は4割を超えています。

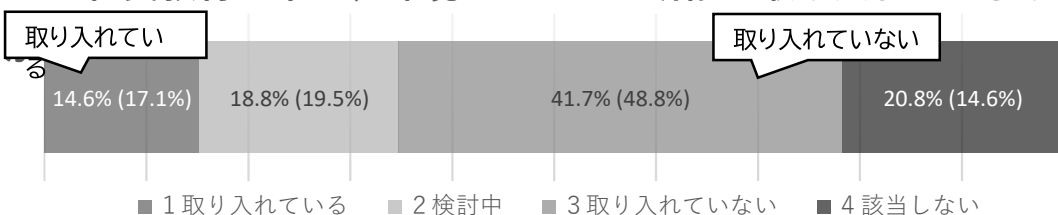
1 5 地域のイベントに参加したことはありますか



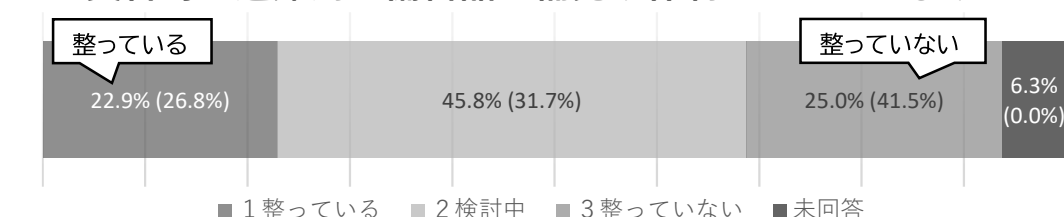
1 6 環境イベントや環境保全活動等に参加したいと思いますか



17 社員教育の中に、環境についての研修を取り入れています



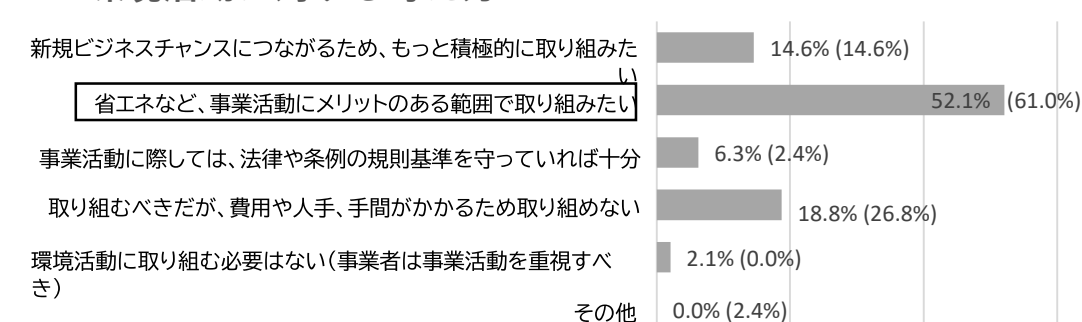
18 災害時の避難用に備蓄品の補充や体制は整っていますか



(4) 環境活動に対する考え方

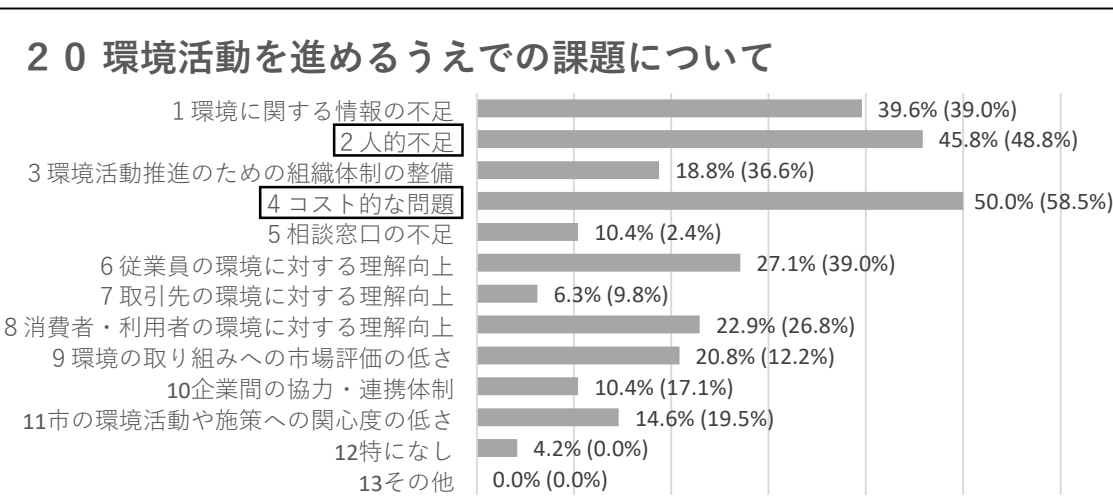
半数以上の事業者が事業活動にメリットがある範囲で取り組みたいと回答しました。

19 環境活動に対する考え方



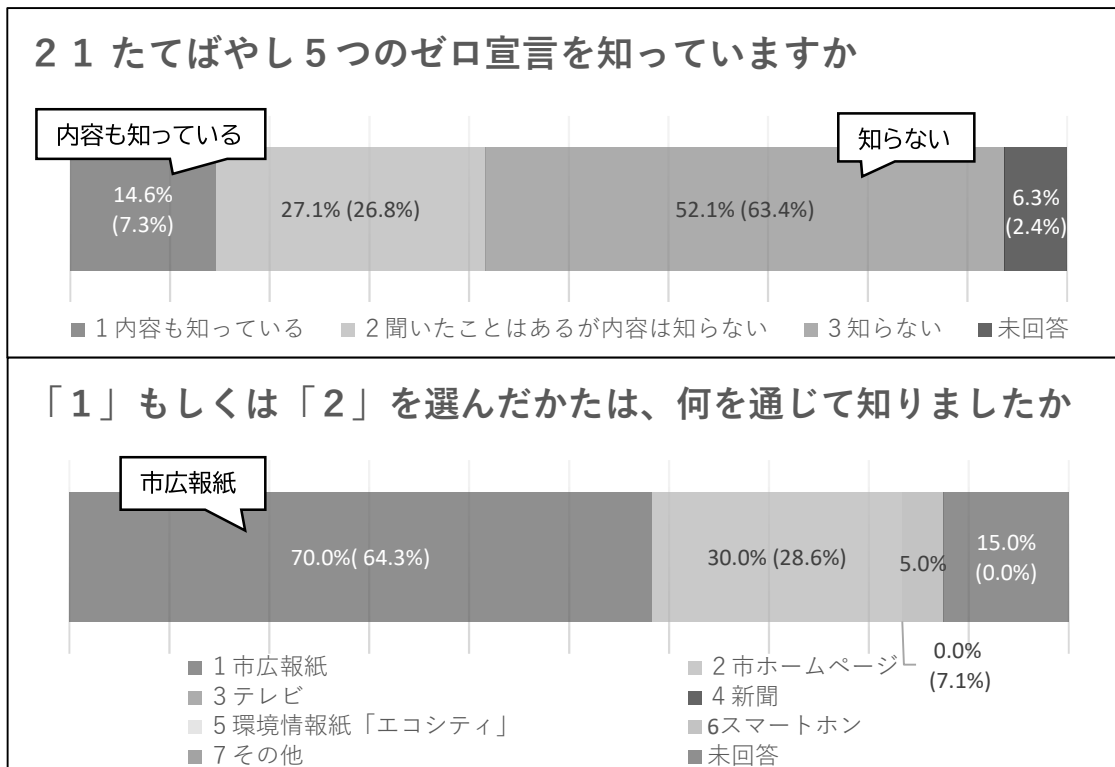
(5) 環境活動を進めるうえでの課題について

多くの事業者がコスト面及び人的不足と回答しました。



（６）たてばやし５つのゼロ宣言について

知っていると回答した事業者は約４割となりました。



4, 現状分析・評価

アンケート調査に関して、市民・事業者の環境活動への取組状況や見えてきた課題から、環境行政の推進に必要な事項について分析・評価を行いました。

（１）市民の取組を進めるための分析・評価

市民の取組状況では、多くの市民が節電・節水をメインに省エネルギー行動に取り組んでいますが、地球温暖化防止につながる設備の導入については、導入にかかる費用が高額化するにつれて導入率が低くなります。導入を推進するための効果的な啓発手段や、補助対象機器の変更・追加を検討します。

また、約半数の市民が環境に係る活動や講座等に参加したことがないため、出前講座やボランティア活動の周知啓発を図る必要があります。

（２）事業者の取組を進めるための分析・評価

多くの事業者が節電・節水などの省エネや燃費の良い車の導入を推進していますが、環境活動の推進について、コスト面や人的不足、情報不足等の課題を抱えています。事業者に対する支援を検討するほか、クールシェアやウォームシェア等の取組を事業者との協働により推進します。

（３）たてばやし５つのゼロ宣言を浸透させるための分析・評価

市民・事業者ともに少しずつ認知度が上がってきましたが、まだまだ十分な認知度ではないため、市広報紙での更なる周知や、出前講座や環境イベントなどあらゆる機会を活用した周知啓発を実施するほか、５つのゼロ宣言につながる取組を増やせるよう、群馬県や宣言している他市町の取組を情報収集をする必要があります。